



あなたの地域でも
自主防災組織を
結成しませんか！

自分たちの地域は、自分たちで守る！



自主防災組織の結成方法など、
いろんなアドバイスをしているモン！
お気軽にご相談ください！

熊本県知事公室
危機管理防災課
☎ 096-333-2811

熊本県 危機管理防災課 検索

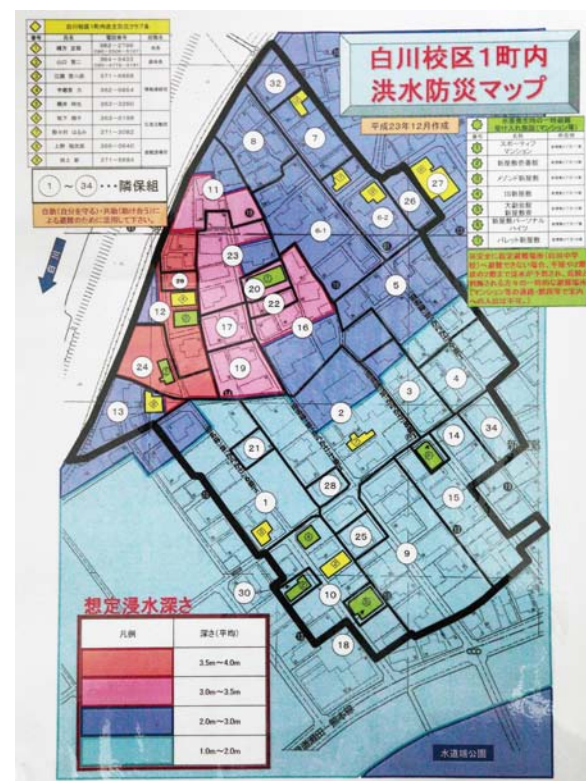
白川校区1町内 自主防災クラブ

熊本市

結成 昭和28年の白川大水害を経験したことのある自治会メンバーが、「地域のためにできることを」を合言葉に結成。
平成19年

地域住民と行政が タッグを組んだ自主防災活動

地域住民が中心となって、「行政と連携した自主防災活動」を継続。白川沿いという地域性を踏まえた洪水防災マップの作成・配布や防災たよりの発行など幅広く活動しています。



「より詳しく、より安全に」 地域独自の洪水防災マップ

- 「住民」と「行政」の共同制作！
- 水害時の浸水深度(想定)が一目瞭然！
- 指定避難場所以外の、「一時避難所」も掲載！



昨年7月の熊本広域大水害の際は、白川の増水に対して、土のうの積み上げや避難誘導などを実施しました。



行政に依頼し、「水害発生時の自主避難」について講話してもらったことも。

ここがポイント

「現場100回！」地域を知り尽くして いるからこそ、生きた組織に

生きた組織にするには、その土地の事情に詳しいキーマンを巻き込むことが大事です。また、自分たちだけではできないことも多いので行政と連携することも重要ですね。



白川校区1町内自主防災クラブ
山口 賢二(左)さん
横井 時也(中央左)さん
宇都宮 力(中央右)さん
上野 福次郎(右)さん



ご近所さん同士の
助け合いが大事だモン☆

自主防災組織の主な活動内容

平常時

- 地域住民で防災について学ぶ
- 地域の災害危険箇所の確認
- 避難訓練 など

災害時

- 地域住民の安否確認
- 被災者の救出や応急手当
- 避難所への避難誘導 など

3区自治会 自主防災委員会

水俣市

結成 「いざというとき、この地域を誰が守るのか」という寄せでの議論が発端となり、自治会が中心となって結成。
平成9年

安全・安心な地域を目指して、 できることから少しずつ始めました

「地域に根差した自主防災活動」を地道に継続。防災についての講習会受講、危険箇所の確認、防災マップの作成など活動は多岐にわたります。

地域に根差した防災活動

- 「みんなで基礎を学ぶ！」
救急救命講習会の開催！
- 地域住民による防災まち
歩きで危険箇所を把握！



平成15年の水俣市大雨災害の際は、長年の活動が功を奏し、迅速な避難誘導ができました。



地域の防災・防犯マップ作りのための夜間調査

ここがポイント

地域が一体となって 継続的な活動を！

自主防災組織がいざというときに機能するには、日頃から地域の皆さんと連携した活動を行っていることが必要です。何事もそうですが、「継続は力なり」で無理せず地道に活動していくことが大事ですね。



水俣市3区自治会
ひだま かつろう
会長 肥田木凱朗さん

狩尾二区 自主防災組織

阿蘇市

結成 平成2年の阿蘇豪雨水害の教訓から、誰もが安心して住める地域を目指して結成。
平成23年

みんなが安全に避難するために、 防災と福祉が連携

「社会福祉協議会の見守りネットワークと連携した防災活動」を継続。福祉と連携することで、災害時に助けを必要とする高齢者などの要援護者の安全安心を守っています。



要援護者の安全安心を守る 手づくり防災マップ

- 高齢者や障がい者等の避難支援！
(誰が、誰を、どこへ、避難誘導するのかまで決めていきます)
- 隣保班単位での一時避難所を掲載！
- 危険箇所も一目瞭然！



昨年7月の熊本広域大水害の際は、見守りネットワークを生かして、隣保班単位で設置してある一時避難場所への避難誘導などを行いました。



「日常の声かけ・見守り」など、地区にどんな方が住んでいるのかを日頃から把握しています。

ここがポイント

要援護者の情報をみんなで共有！

災害時は、自分の力で避難できないおそれのある要援護者の皆さんを安全に避難誘導することが求められます。そのために、福祉のネットワークと連携し、どういったケアが必要かなど日頃から情報を共有することが重要ですね。



狩尾二区自主防災組織
前区長 大木 福男さん(右)